

FUJIFILM

instax Pal

Digital Camera

使用説明書(詳細)



目次

カメラを廃棄するとき	3	アプリを使わないときの撮影フロー	18
カメラを廃棄するときの注意	3	アプリと接続せずに撮影する場合	18
小形充電式電池のリサイクルについて	3	撮影データをアプリに転送する	18
電池の取り出しかた	3	撮影	19
カメラの準備	4	撮影するときのご注意	19
カメラをお使いになる前に	4	底面のモード切替スイッチについて	19
各部の名称	4	カメラの構えかた	19
リングストラップの使いかた	5	撮影する	19
リングストラップを取り付ける	5	基本的な撮影	19
SD カードを使用する	5	連写撮影	20
SD カードを入れる	5	フラッシュ撮影について	20
充電する	6	リングストラップを簡易ファインダーにする	20
充電状態の表示について	6	リングストラップをカメラの台座にする	20
電源を入れる / 切る	7	アプリを使ってリモート撮影する	21
LED が示すカメラの状態	7	アプリを使ってインターバル撮影する	21
アプリの準備	8	ギャラリーと INSTAX Animation	22
アプリをインストールする	8	撮影した画像を閲覧 / 編集する	22
アプリと接続する	8	INSTAX Animation を作成する	23
アプリについて	11	プリント	24
アプリの画面	11	アプリからプリントする	24
メイン画面	11	写真をカメラから直接プリントする	25
メニュー画面	11		
設定画面	12	仕様	26
撮影の準備	13	このようなときは	27
アプリとペアリングする	13	安全にご使用いただくために	28
カメラに名前をつける	13	取扱上のお願ひ	29
シャッターサウンド音を選ぶ	14	Bluetooth® 機器使用上の注意事項	29
撮影フォーマットを選ぶ	15	アフターサービスについて	30
アプリに転送した画像をカメラにも残す	15	個人情報の取扱について	31
撮影データについて	16		
撮影データの保存先	16		
SD カードを挿入しない場合	16		
SD カードを挿入した場合	16		
撮影・保存可能枚数	16		
アプリを使うときの撮影フロー	17		
アプリと接続して撮影する場合	17		

Independent JPEG Group ライセンス

本ソフトウェアの一部は Independent JPEG Group の著作物に基づくものです。

© 2023 FUJIFILM Corporation. All rights reserved.

カメラを廃棄するとき

カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。

一般ゴミなどと一緒に廃棄しないでください。

お住いの市町村のごみ捨てルールに従って、廃棄してください。

ご不明なことがありましたら「お客さま相談窓口」にご相談ください。(31 ページ)

小形充電式電池のリサイクルについて



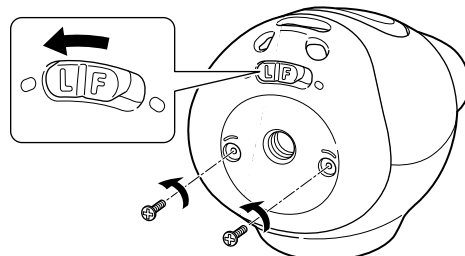
小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

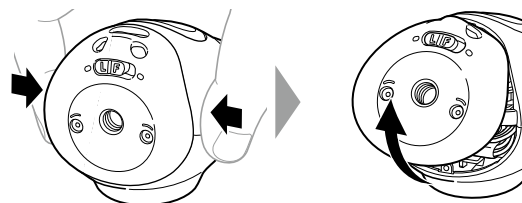
カメラを安全に使用するために、「安全にご使用いただくために」(28 ページ)をお読みください。

電池の取り出し方

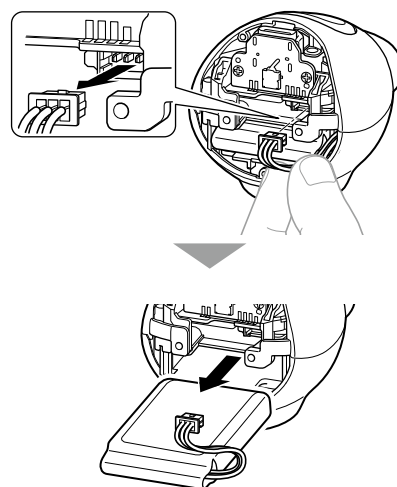
1 底面のスイッチを「L」に合わせて、ネジをまわす



2 指で本体の両端を押し、ふたを浮かせて取り出す



3 配線を引き出し、コネクターを外し、バッテリーを抜く



・バッテリーは排出協力店・自治体の指示に従い廃棄してください。

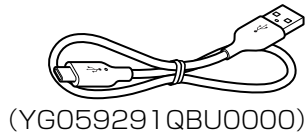
カメラの準備

カメラをお使いになる前に

カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

付属品一覧

- USB Type-C ケーブル (1 本) • リングストラップ (1 個)



- 使用説明書 (1 冊)



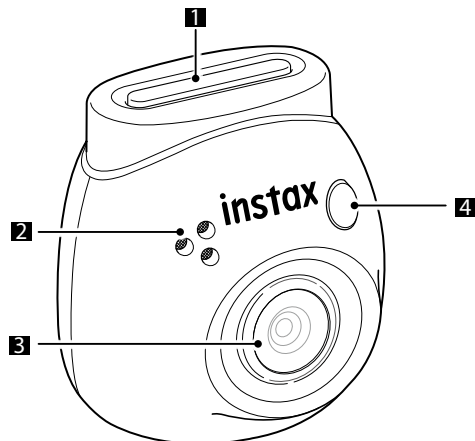
❗ 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。ご使用になる前に必ず充電してください。

各部の名称

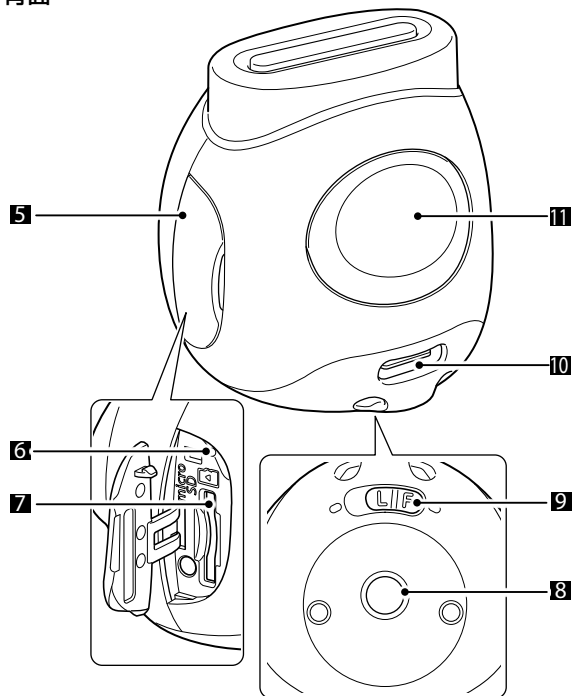
- 1 電源ボタン / LED*
- 2 スピーカー
- 3 レンズ
- 4 フラッシュランプ
- 5 microSD カードカバー
- 6 リセットボタン
- 7 microSD カードスロット
- 8 三脚穴
- 9 モード切替スイッチ
- 10 USB Type-C ケーブル接続部
- 11 シャッターボタン

* LED の表示については、6 ページと 7 ページをご覧ください。

前面



背面



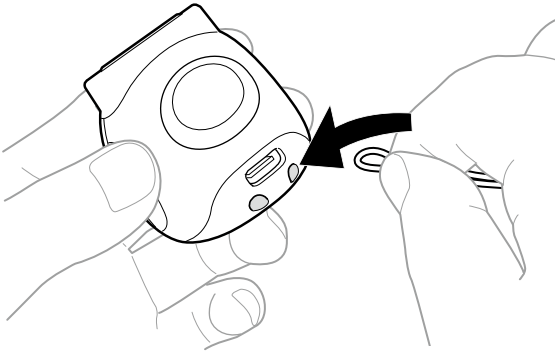
カメラの準備

リングストラップの使いかた

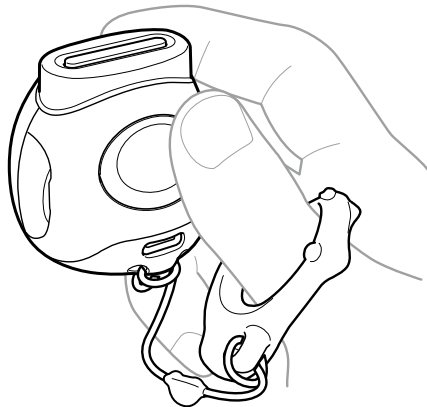
リングストラップは、ストラップ以外にもカメラの簡易ファインダーや台座として使うこともできます。(20 ページ)

リングストラップを取り付ける

1 ストラップ穴に通す



2 指に引っ掛けて使う



SD カードを使用する

本機は内蔵メモリーに約 50 枚の静止画を保存できますが、SD カードを使用すると、より多くの画像を保存できます。また、ファームウェアデータを SD カードに保存し、本体のアップデートを行うことも可能です。

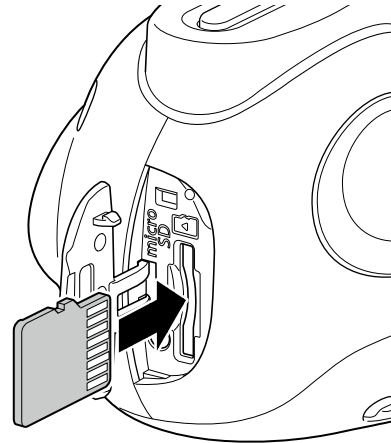
※最新のファームウェアデータは製品サイトでも公開されます。

※ SD カードは別売りです

SD カードを入れる

ふたを開けて SD カードを microSD カードスロットに差し込んでください。

取り出すときは、SD カードを軽く押し、SD カードが少し出てきたら、指で取り出してください。



SD カードについての注意

- このカメラに対応している SD カードは microSD カードまたは microSDHC カードです。指定以外の SD カードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- SD カードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- SD カードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源を OFF にしたり、SD カードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びた SD カードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに SD カードを入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間で使った後、取り出した SD カードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SD カードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

カメラの準備

SD カードを PC で使用する場合の注意

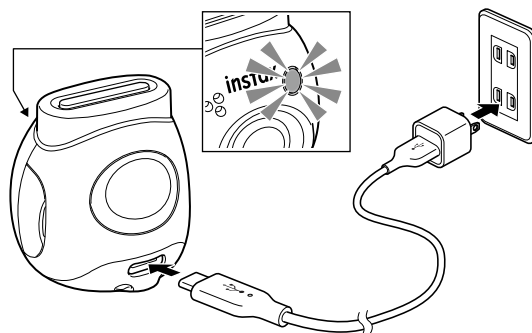
未使用の SD カードや、PC やその他の機器で使用した SD カードはカメラに挿入して、INSTAX Pal アプリでフォーマットしてからご使用ください。

※フォーマットは、アプリの「メディア制御」から行ってください。

SD カードをフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PC で SD カードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。SD カードをカメラで使用できなくなることがあります。

- SD カード内の画像の消去は PC で行わないでください。必ず INSTAX Pal アプリで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

充電する



カメラとご使用のスマートフォンなどの USB 電源アダプタを付属の USB Type-C ケーブルで接続し、USB 電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

- 充電時間の目安は約 2 ～ 3 時間です。
- 充電が始まると本体前面の丸いランプが点灯します。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。

充電状態の表示について

アプリと接続しているときは、メイン画面左上のアイコンでバッテリー残量を確認できます。

充電中	フラッシュランプが点灯します。 ※電源が入っているときは、フラッシュランプが点灯しません。
充電完了	フラッシュランプが消灯します。
充電エラー	フラッシュランプが消灯します。

* 電源が入っていないときは、バッテリー充電完了後に消灯します。アプリと未接続で電源が入っているときは、バッテリー充電完了後に白色の点灯に変わります。

PC から充電するときは：

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラと PC を接続してください。
- 充電中に PC が休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PC の休止状態（スリープ状態）を解除した後、USB Type-C ケーブルを接続し直してください。
- PC の仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

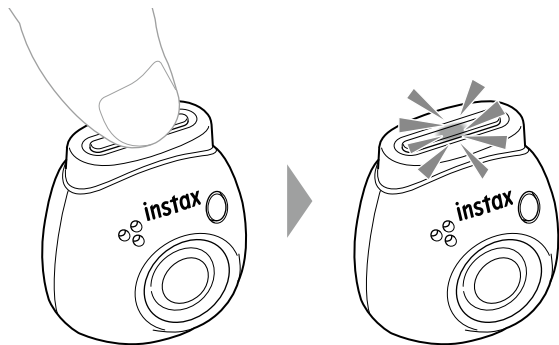
ご注意

- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願い」を参照してください。（29 ページ）

カメラの準備

電源を入れる / 切る

- 1 電源ボタンを 2 秒間長押しする
LEDが点灯し、電源が入ります。



■ 電源を切るときは
電源ボタンを長押ししてください。LED が消灯して、電源が切れます。

2 分間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます (初期設定)。アプリのメニューで「5 分」 / 「自動電源 OFF」 に設定を変更することができます。

LED が示すカメラの状態

LED でカメラの状態を確認できます。

Fun/Link モード共通

表示	状態
白のゆらぎ点灯	Bluetooth 非接続かつバッテリー Full/Middle
赤のゆらぎ点灯	Bluetooth 非接続かつバッテリー Low
ピンクの点灯	写真撮影時
紫のゆらぎ点灯	写真転送中
青低速点滅	ファームウェア更新中
青高速点滅	ファームウェア更新エラー
黄色高速点滅 (3 秒間)	未転送枚数もしくはメディア容量が上限に達しています。カメラとアプリを Bluetooth 接続し、表示されるメッセージをご確認ください。 ※カメラの内蔵メモリーには最大 50 枚までの画像を保存できます。 ・ アプリに写真を転送すると、内蔵メモリーの画像ファイルは消去されます (初期設定)。内蔵メモリーに画像を残す設定も可能ですが、未転送上限枚数にご注意ください。
黄色点灯 (3 秒間)	バッテリー残量がほとんどない可能性があります。充電しても本現象が継続する場合はお問い合わせください。
赤色高速点滅 (3 秒間)	本体の温度上昇が検知されました。3 秒後、自動的に電源が切れます。

Fun モード時

表示	状態
青のゆらぎ点灯	スマートフォンと Bluetooth 接続完了

Link モード時

表示	状態
緑のゆらぎ点灯	プリンターと Bluetooth 接続完了

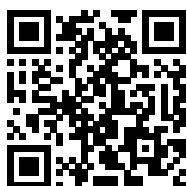
アプリの準備

アプリをインストールする

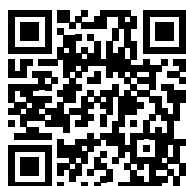
カメラをご使用になる前に、ご使用の端末にアプリをインストールしてください。

- Android OS の端末をご使用の場合は、Google Play から「INSTAX Pal」を検索し、インストールしてください。
* Android OS の端末の動作環境：Android Ver 10.0 以上
- iOS の端末をご使用の場合は、App Store から「INSTAX Pal」を検索し、インストールしてください。
* iOS の端末の動作環境：iOS Ver 14.0 以上
- 端末の機種によっては、アプリをインストールして上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。

動作環境の最新情報は、INSTAX Pal のアプリダウンロードサイトでご確認ください。



iOS



Android OS

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

アプリのバージョンアップにより、画面構成や機能、仕様が変更ことがあります。ご了承ください。

アプリと接続する

アプリの機能を使って、プリントする写真に文字を入れたり、フィルターをかけたり、いろいろなプリントを楽しむことができます。アプリの詳しい使いかたについては、以下のサイトをご覧ください。

<https://instax.jp/pal/>

1 あらかじめ端末にダウンロードしたアプリ「INSTAX Pal」を起動する

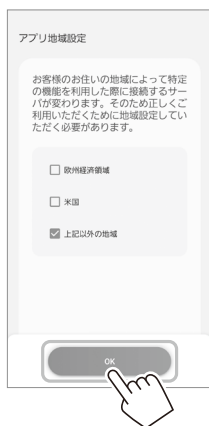


2 端末へのアクセスについての設定をする

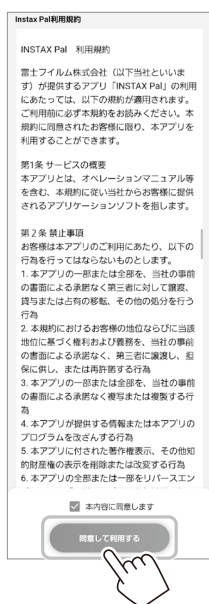


アプリの準備

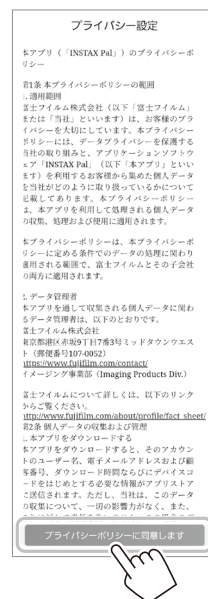
3 アプリを使用する地域にチェックを入れ、[OK] をタップする



4 利用規約をご確認いただき、[本内容に同意します] にチェックを入れ、[同意して利用する] をタップする



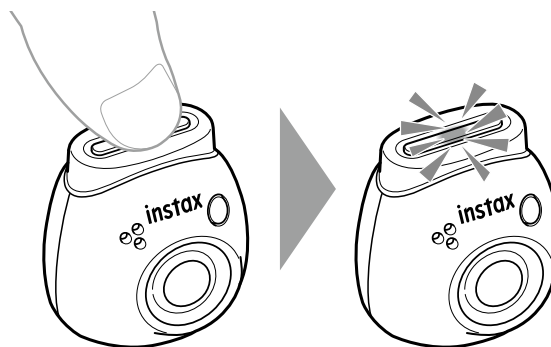
5 プライバシー設定をご確認いただき、[プライバシーポリシーに同意します] をタップする



6 [はじめる] をタップして、[次へ] をタップする



7 電源ボタンを2秒間長押しして、カメラの電源を入れる LEDが点灯します。



アプリの準備

8 カメラが検出されたら、[接続] をタップする

複数のカメラが検出された場合は、接続したいカメラを一覧から選択してください。
カメラの識別名 (SSID) は、カメラの底面に記載されています。



ご注意

お使いのスマートフォンOSのBluetooth使用設定がOFFの場合は、[BluetoothをONにしてください。]をタップして、Bluetoothを使用できるようにしてください。

9 カメラが接続されたら、[閉じる] をタップする



10 [次へ] をタップして、カメラにお好きな名前をつける

あとで名前をつけるときは、[スキップ]をタップしてください。

名前のつけかたは、「カメラに名前をつける」(13ページ)をご覧ください。



11 [この名前にする] をタップする



12 簡易使用説明が表示されるのでお読みいただき、[終了する] をタップする

アプリについて

アプリのバージョンアップにより、画面構成や機能、仕様が変更することがあります。ご了承ください。

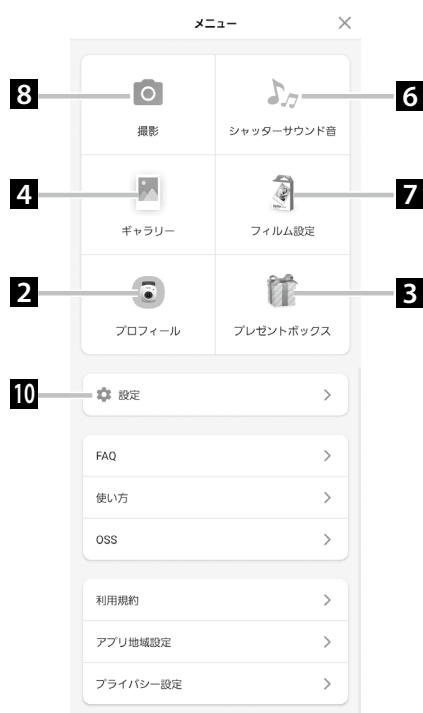
アプリの画面

アプリを起動すると、以下のメイン画面が表示されます。

メイン画面



メニュー画面



1 カメラの状態

バッテリー残量と現在の撮影フォーマットを表示します。

2 プロフィール

バッテリー残量や「なかよし度」を確認できます。

3 プレゼントボックス

「INSTAX Animation」が届きます。「INSTAX Animation」が届いたときは、届いた数がアイコンに表示されます。

4 ギャラリー

カメラで撮影した画像がギャラリーに転送されます。画像転送時や転送後、画像の枚数がアイコンに表示されます。ギャラリーでは画像の閲覧や編集、プリントする画像の選択ができます。

※ アプリに接続すると、未転送の画像がカメラからスマートフォンに転送されます。アプリと接続していないときの撮影上限枚数は 50 枚です。

5 ペアリング …

カメラとペアリングします。

6 シャッターサウンド音

シャッター音の前に流れるサウンドを設定することができます。詳しくは、「シャッターサウンド音を選ぶ」（14 ページ）をご覧ください。

7 フィルム設定

「mini」、「SQUARE」、「WIDE」から撮影フォーマットを選びます。

8 撮影

アプリを利用して撮影する場合に選びます。

9 メニュー

メニュー画面を表示します。

10 設定

各種の設定を行います。詳しくは、「設定画面」（12 ページ）をご覧ください。

※ メニュー画面の「撮影」、「ギャラリー」、「プロフィール」、「シャッターサウンド音」、「フィルム設定」、「プレゼントボックス」はメイン画面の項目と同じです。

アプリについて

設定画面



Bluetooth 設定	アプリとペアリングされているカメラの確認や、ペアリングの解除 / 接続ができます。
本体動作設定	下記の「本体動作設定」をご覧ください。
本体のバージョンアップ確認	ファームウェアをアップデートします。
カメラ名設定	カメラに名前をつけます。 詳しくは、「カメラに名前をつける」(13 ページ) をご覧ください。
ダウンロード設定	INSTAX Animationのダウンロードを許可するかどうかの設定をします。
データのバックアップ設定	機種変更時のデータバックアップ・復元ができます。

本体動作設定

本体動作設定の項目は以下の通りです。



基本設定

自動電源オフ	カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。
設定値リセット	設定値を工場出荷時の設定に戻します。
電源 ON 時 光 り 方 設定	電源を入れたときの LED の光りかたのパターンを設定します。

メディア設定

メディア制御	カメラ本体や SD カードに保存されているオリジナル撮影データの確認や、画像をスマートフォン本体へダウンロードできます。
メディア初期化	カメラの内蔵メモリーまたはカードスロットに挿入されている SD カードを初期化します。保存されている撮影データはすべて削除されます。
カメラ内画像自動削除	アプリに転送した撮影データをカメラの内蔵メモリーや SD カードに残すかどうかの設定をします。

音設定

音量設定	操作音、シャッターサウンド音、起動音の音量を設定します。
シャッターサウンドグループ音量設定	シャッターサウンドグループ音量を設定します。
登録音初期化	登録音を初期化します。
起動音設定	起動音を選びます。

印刷設定

日付プリント設定	画像に日付を書き込みます。
日付表示方法	日付の表示方法を設定します。
画質モード	従 来 画 質 の [INSTAX-Natural モード] または色彩表現が豊かな [INSTAX-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。

撮影設定

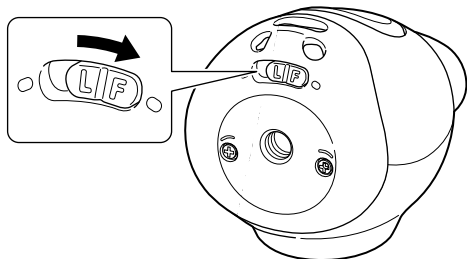
Flash	フラッシュの設定をします。[自動] (フラッシュを自動的に発光)、[OFF]、[ON] から選択可能です。
露出補正	露出値を設定します。

撮影の準備

アプリとペアリングする

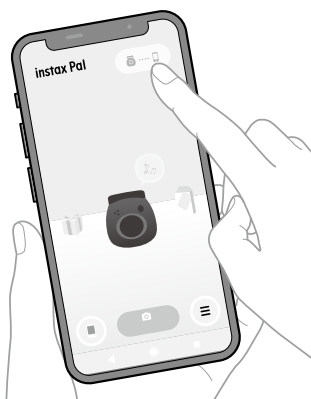
カメラとアプリを連携してスマートフォンから撮影ができます。

- 1 底面のモード切替スイッチを「F」に合わせる
「Fun」モードに入ります。



- 2 アプリを操作する

[📷]…[📱]をタップして、次の画面で[接続]をタップしてください。



カメラに名前をつける

カメラにお好きな名前をつけることができます。

- 1 設定アイコン→[設定]→[カメラ名設定]をタップする



- 2 文字を入力して名前をつけたら、[完了]をタップする



撮影の準備

シャッターサウンド音を選ぶ

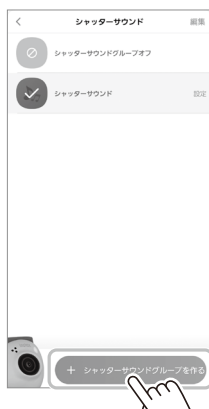
シャッター音の前に流れるサウンドを設定することができます。

※撮影時のシャッター音は変更できません。

1 「シャッターサウンド音」をタップする



2 「シャッターサウンドグループを作る」をタップする



3 音声を録音する



- 再生ボタンを押すと、録音したサウンドを確認することができます。
- 録音をやり直したいときは、[再録音]をタップしてください。

4 「シャッターサウンドグループ登録」をタップする

「完了しました」と画面に表示されると、完了です。
シャッターサウンドは5つまで登録できます。



撮影の準備

撮影フォーマットを選ぶ

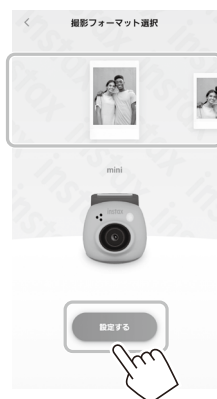
撮影する画像のサイズを「mini」、「SQUARE」、「WIDE」の3種類から選ぶことができます。お使いのプリンターに合わせた設定を推奨します。

※プリントする前にアプリで編集・調整をすると、プリンターと異なるサイズの画像もプリントできます。

1 「フィルム設定」をタップする



2 撮影フォーマットを選び、「設定する」をタップする



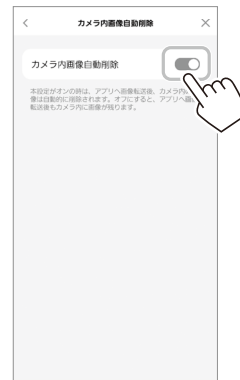
アプリに転送した画像をカメラにも残す

初期設定では、アプリに撮影データを転送すると、カメラ側のデータが消えます。撮影データをアプリに転送したあともカメラにデータを残したい場合は、以下の設定をしてください。

1 設定アイコン→[設定]→[本体動作設定]→[カメラ内画像自動削除]をタップする



2 [カメラ内画像自動削除]のオン/オフを設定する 「オフ」にすると、撮影データをアプリに転送したあともカメラにデータが残ります。



画像の保存可能枚数については、「撮影・保存可能枚数」(16ページ)をご覧ください。

撮影データについて

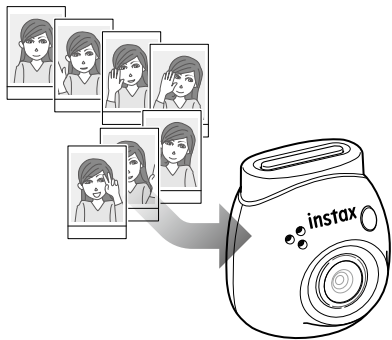
撮影データの保存先

SD カードの挿入あり / なしでデータの保存先が変わります。

SD カードを挿入しない場合

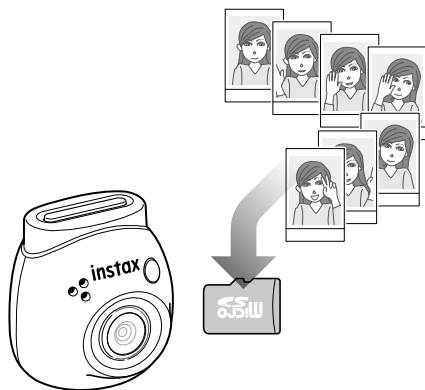
SD カードを挿入しないで撮影した場合、撮影データはカメラの内蔵メモリーに保存されます。

- ・内蔵メモリーの上限枚数に注意してください。

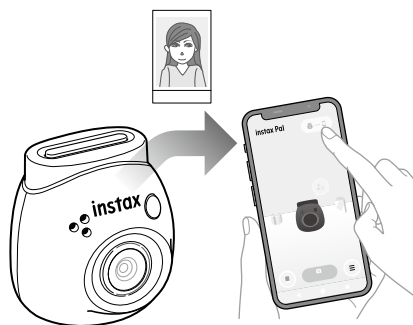


SD カードを挿入した場合

SD カード挿入時は、データは SD カードに保存され、カメラの内蔵メモリーには保存されません。



アプリと接続しているときは、SD カードのあり / なしに関わらず、撮影データはアプリに転送されます。カメラ本体側のデータは初期設定では削除されますが、設定によって残すこともできます。(15 ページ)



撮影・保存可能枚数

撮影可能枚数と保存可能枚数の目安は以下となります。
内蔵メモリーや SD カードに保存されている撮影データの確認は、設定「メディア制御」から可能です。

- ・オリジナル撮影データをカメラに残す設定のときは、容量上限にご注意ください。
- ・未転送の撮影データが溜まっている場合は、こまめにアプリに転送してください。
- ・撮影データの転送中は撮影することができません。

撮影可能枚数

	内 蔵 メ モ リ ー	S D カ ー ド 挿入時
アプリ未接続時	50 枚	50 枚
アプリ接続時 [カメラ内画像自動削除] がオン	制限なし	制限なし
アプリ接続時 [カメラ内画像自動削除] がオフ	約 50 枚	SD カードの 容量上限ま で撮影可能

- ・アプリ未接続時の撮影枚数上限は 50 枚です。
- ・アプリに接続すると、画像が自動でアプリに転送されます。
- ・アプリに転送されると、カメラのオリジナル撮影データは削除されます([カメラ内画像自動削除] が [オン] の場合)。

保存可能枚数

[カメラ内画像自動 削除] の設定	内蔵メモリー	S D カ ー ド
オン	保存しない (アプリに転送)	保存しない (アプリに転送)
オフ	約 50 枚	SD カードの容 量上限まで保存

アプリを使うときの撮影フロー

アプリと接続して撮影する場合

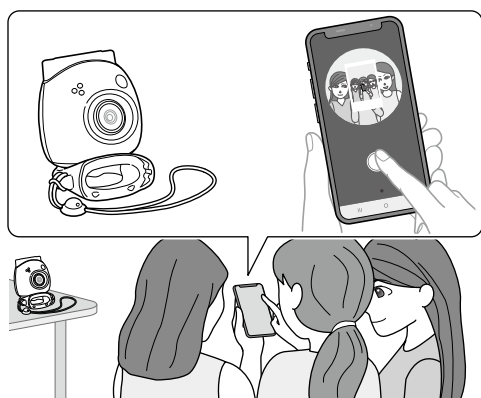
撮影画像はアプリ接続時に自動で転送されます。そのため、メモリーの容量上限を気にせずに撮影を続けることが可能です。

カメラとアプリをペアリングします

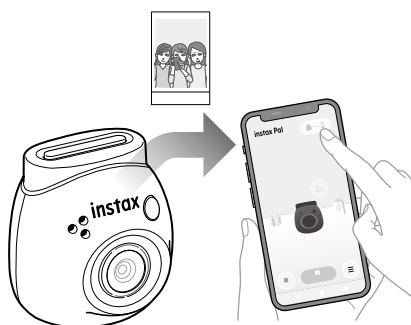
※底面のモード切替スイッチを必ず「F」に合わせてください。



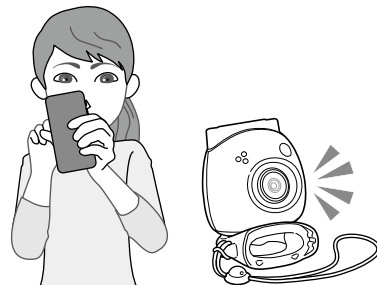
カメラまたはアプリで撮影します



撮影した画像は撮影ごとにアプリに転送されます。



撮影画像は撮影ごとにアプリに転送されるので、撮影上限枚数はありません。内蔵メモリーやSDカードの容量を気にすることなく撮影を続けられます。



内蔵メモリーまたはSDカードに撮影データを残したいときは

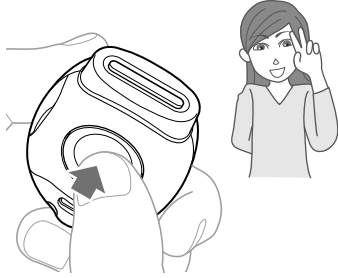
初期設定では、アプリに撮影画像を転送すると、カメラ側の撮影データが消えます。オリジナル撮影データをカメラに残したい場合は、「アプリに転送した画像をカメラにも残す」(15 ページ) をご覧ください。

アプリを使わないときの撮影フロー

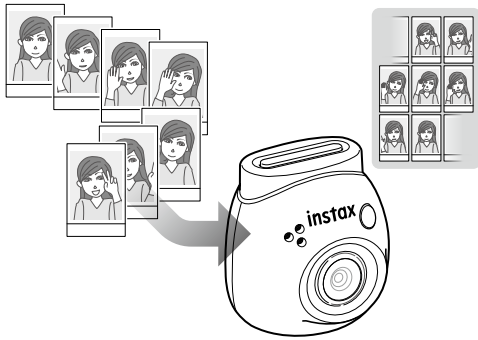
アプリと接続せずに撮影する場合

撮影データは内蔵メモリーまたは SD カードに保存されます。撮影上限枚数（50 枚）に達すると、警告アナウンスが流れ、撮影が続けられなくなります。

シャッターボタンを押して撮影します



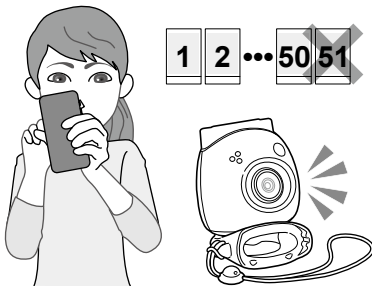
撮影データが内蔵メモリーまたは SD カードに保存されます。



SD カードなし	撮影データは内蔵メモリーに保存され、溜まっていきます。
SD カード 挿入時	撮影データは内蔵メモリーではなく、SD カードに保存されます。

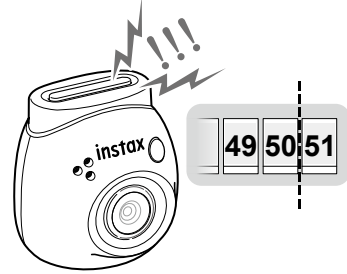
カメラ単体で撮影した場合の撮影可能枚数

アプリに転送しない場合の撮影可能枚数は、SD カードのあり / なしに関わらず 50 枚です。



未転送画像枚数が上限に達すると

カメラから警告アナウンスが流れます。撮影を続けるには、未転送の撮影データをアプリに転送してください。下記の「撮影データをアプリに転送する」をご覧ください。



内蔵メモリーまたは SD カードに撮影データを残したいときは

初期設定では、アプリに撮影データを転送すると、カメラ側の撮影データが消えます。オリジナル撮影データをカメラに残したい場合は、「アプリに転送した画像をカメラにも残す」（15 ページ）をご覧ください。

撮影データをアプリに転送する

カメラとアプリをペアリングします

ペアリングが完了すると、未転送の撮影データが自動的にアプリに転送されます。

※底面のモード切替スイッチを必ず「F」に合わせてください。



転送中は

アプリの画面上に転送完了までのアナウンスが表示されます。

※転送中はカメラの操作ボタンが無効になり、操作ができません。

転送が完了すると

カメラ側のオリジナル撮影データが消去されます。

ギャラリーやプレゼントボックスから撮影データを確認できます。

撮影

撮影するときの注意

- アプリに接続すると、撮影データが自動でアプリに転送され、カメラの元画像は消えます。
- 未転送の撮影データが溜まっている場合は、こまめにアプリに転送してください。
- 撮影データの転送中は撮影することができません。
- オリジナル撮影データをカメラに残す設定のときは、容量上限にご注意ください。

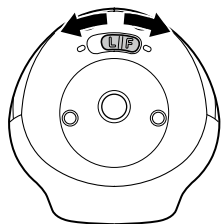
底面のモード切替スイッチについて

底面のモード切替スイッチで「Fun」モードと「Link」モードを切り替えます。

撮影するときは、モード切替スイッチを必ず「F」に合わせてください。

撮影した画像を直接プリントしたい場合に限り、「L」に合わせてください。

「Link」モードについては、25 ページをご覧ください。



カメラの構えかた



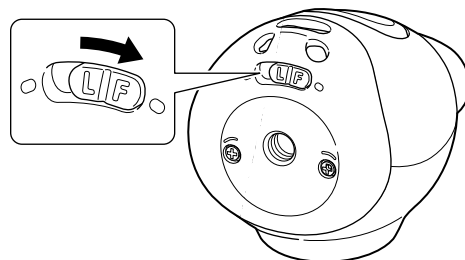
- リングストラップや指がレンズに掛からないように注意してください。

撮影する

シャッターボタンを押して撮影します。撮影データを SD カード（別売）または内蔵メモリーに保存できます。

基本的な撮影

- 1 モード切替スイッチを「F」に合わせる
「Fun」モードに入ります。



- 2 シャッターボタンを押す
画像が撮影され、アプリに転送されます。



アプリに接続されていないときは

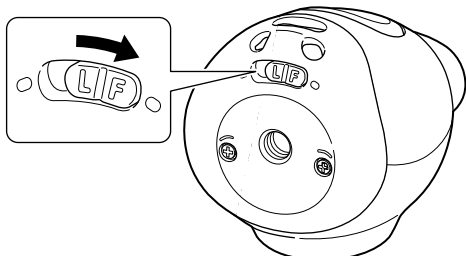
- 撮影データは内蔵メモリーまたは SD カードに保存されます。
- 撮影上限枚数は 50 枚です。

撮影

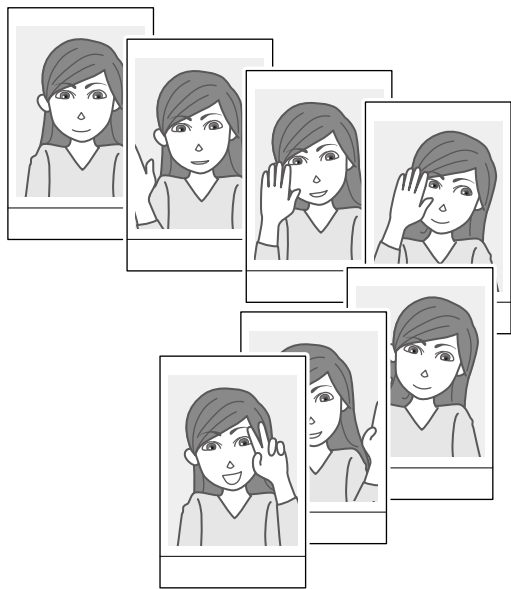
連写撮影

長押しで最大 7 枚まで連写できます。

- 1 モード切替スイッチを「F」に合わせる
「Fun」モードに入ります。



- 2 シャッターボタンを押したままにする
画像が最大 7 枚まで撮影され、アプリに転送されます。



アプリに接続されていないときは

- 撮影データは内蔵メモリーまたは SD カードに保存されます。
- 撮影上限枚数は 50 枚です。

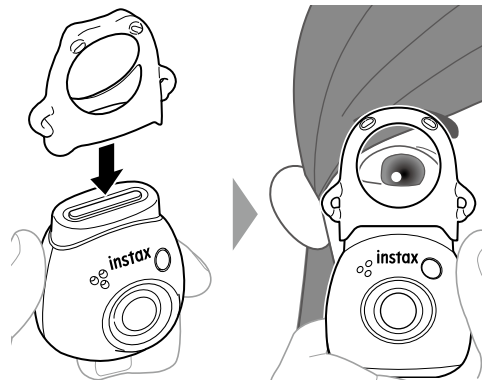
フラッシュ撮影について

フラッシュは暗いときに自動で発光しますが、オフにすることもできます。メニューの [Flash] で設定してください。

リングストラップを簡易ファインダーにする

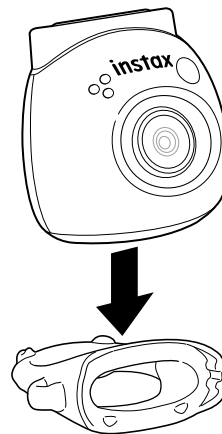
目安であり、見える通りに撮れるものではありません。

- 1 リングストラップをカメラの上面にはめる



リングストラップをカメラの台座にする

リングストラップのくぼみにカメラをセットして、リングストラップを台座として利用することもできます。



撮影

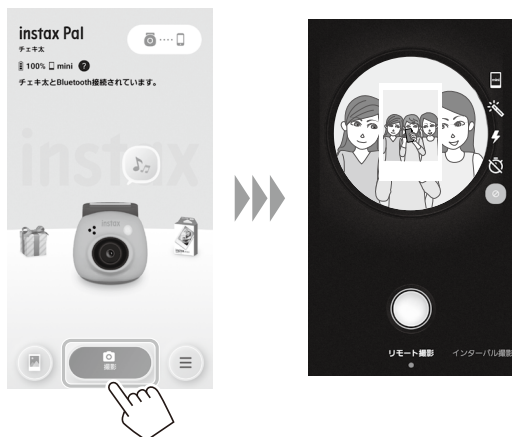
アプリを使ってリモート撮影する

カメラとアプリを連携してスマートフォンから撮影ができます

アプリの画面でスルー画を確認してから、撮影することができます。

1 メイン画面の「撮影」をタップする

カメラのスルー画が画面に表示されます。

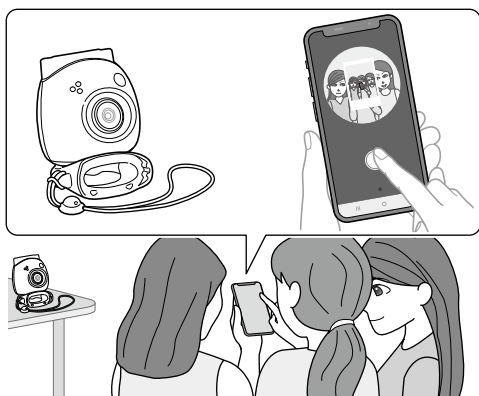


画像の編集

撮影する前にカメラの設定が可能です。

	撮影フォーマットを選びます。
	フィルターをかけることができます。
	フラッシュの設定をします。
	セルフタイマーを設定します。
	シャッター音を設定します。

2 アプリのボタンをタップして撮影する



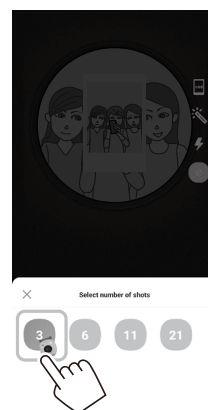
アプリを使ってインターバル撮影する

一定の間隔時間で連続して撮影することができます。

1 メイン画面の「撮影」をタップして、次の画面で「インターバル撮影」をタップする



2 撮影する画像の枚数を選ぶ



3 「スタート」をタップして撮影を開始する



途中で撮影を終了するときには

[撮影を終了する]をタップしてください。撮影が終了します。

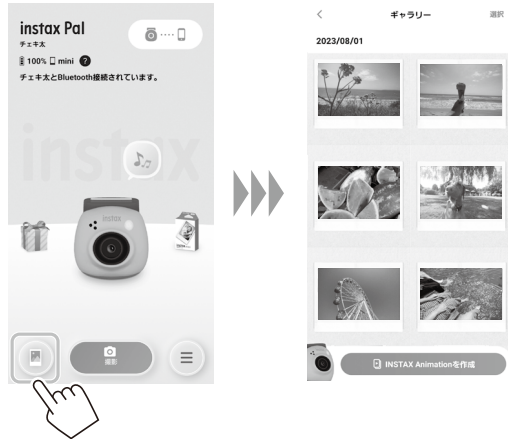
ギャラリーと INSTAX Animation

撮影した画像を閲覧 / 編集する

撮影した画像は、ギャラリーで閲覧できます。
フィルターやエフェクトの適用などの編集も可能です。

1 ギャラリーアイコンをタップする

撮影した画像のサムネイルが表示されます。

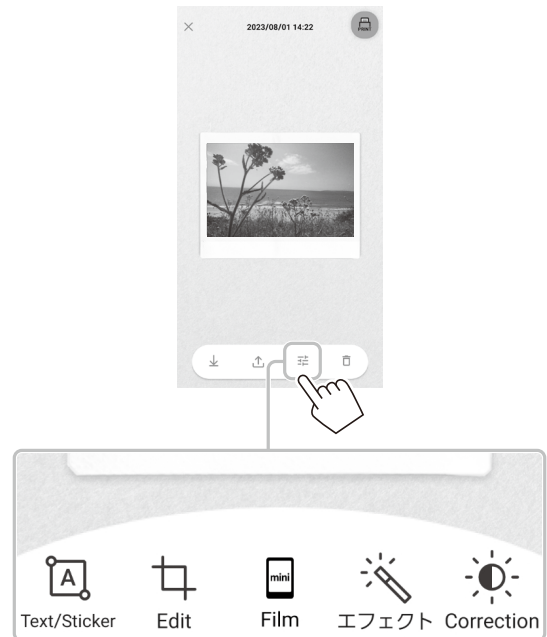


2 画像のサムネイルをタップする

撮影した画像が表示されます。



3 画像を編集するときは [𐀀] をタップする



画像の編集

フィルターや文字入力などのメニューが用意されています。

	テキストを入力したり、ステッカーを付けることができます。
	画像の拡大縮小・回転ができます。
	画像フォーマットを選びます。
	フィルターをかけることができます。
	画像の調整ができます。

4 編集が完了したら、「完了」をタップする

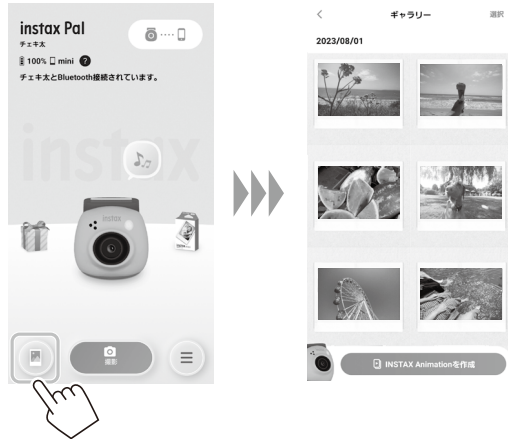
ギャラリーと INSTAX Animation

INSTAX Animation を作成する

「INSTAX Animation」は、ギャラリーの中から好きな画像を何枚か選んで、アニメーションを作成する機能です。

1 ギャラリーアイコンをタップする

撮影した画像のサムネイルが表示されます。



4 「この写真で作成」をタップする

選んだ画像でアニメーションが作成されます。

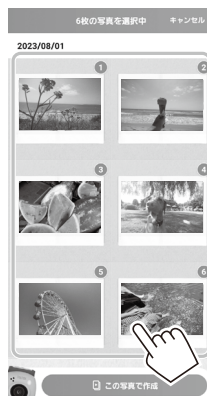


2 「INSTAX Animation を作成」をタップする



3 アニメーションの元にするサムネイルをタップして、画像を選ぶ

複数の画像を選択してください。



プリント

アプリからプリントする

アプリから写真をプリントできます。プリントする前に写真にエフェクトをかけたりすることができます。

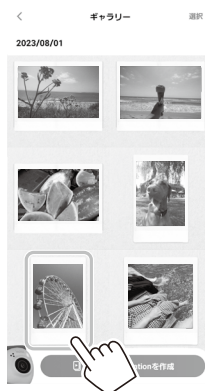
以下の手順は、INSTAX mini Link と接続したときの例です。

1 ギャラリーアイコンをタップする

撮影した画像のサムネイルが表示されます。



2 プリントしたい写真を選ぶ

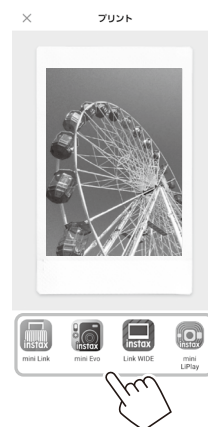


3 [🖨️] をタップする



4 プリンターを選ぶ

選択したプリンターのアプリが起動します。



5 [🖨️] をタップするか、画面をスワイプする

画像がプリントされます。

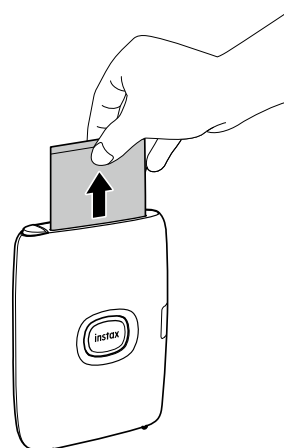
画像の転送中にプリントする画像の枚数を選ぶこともできます。



6 お使いのプリンターとスマートフォンをペアリングする

7 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す

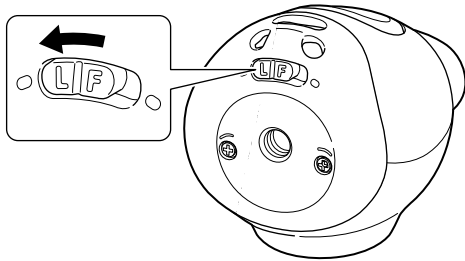
フィルム残量はスマートフォンの画面で確認できます。



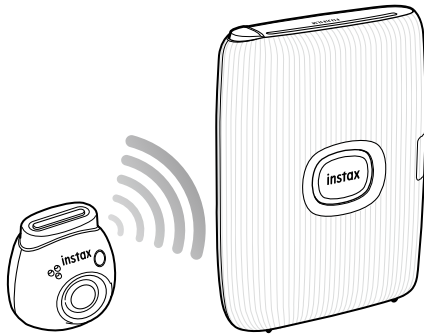
プリント

写真をカメラから直接プリントする

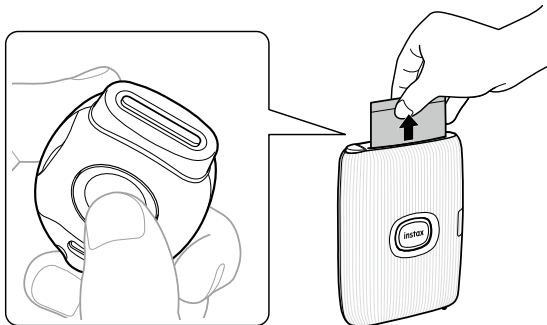
- 1 モード切替スイッチを「L」に合わせる**
「Link」モードに入ります。



- 2 カメラとプリンターを接続する**
カメラとプリンターの電源を入れて近づけると、LEDが緑色に点灯し、自動で接続されます。



- 3 撮影およびプリントする**
カメラで撮影すると、撮影画像がプリンターに転送され、プリントが開始されます。



仕様

■ カメラ機能

撮像素子	1/5 型 CMOS 原色フィルター
記録画素数	2560 × 1920 ピクセル
記録メディア	内蔵メモリー、microSD/ microSDHC メモリーカード
記録枚数	内蔵メモリー約 50 枚、 microSD/microSDHC メモリーカード 1GB あたり約 850 枚
アプリ未接続時 撮影上限枚数	50 枚
記録方式	JPEG(DCF 準拠 Exif Ver 2.3)
焦点距離	f=16.25 mm (35 mm フィルム換 算)
絞り	F2.2
撮影可能距離	19.4 cm ~ ∞
シャッタースピー ド	1/4 秒 ~ 1/8000 秒 (自動切替)
撮影感度	ISO100 ~ 1600 (自動切替)
露出制御	プログラム AE
露出補正	- 2.0 EV ~ + 2.0 EV (1/3 EV ステップ)
測光方式	TTL256 分割測光、マルチ測光
ホワイトバランス	自動
フラッシュ	オートフラッシュ / 強制発光 / 発光 禁止 撮影可能範囲 約 60 cm ~ 1.5 m
セルフタイマー	約 2 秒 / 約 10 秒
ズーム	なし

■ その他

外 部 イ ン タ ー フェース	USB Type-C ケーブル 接続部 (充電 専用)
電源	リチウムイオン電池 (内蔵型)
消費電力	電源オフ時: 約 0.0W (0.4mW)
自動電源オフ機能	5分/2分/オフ ※自動電源オフ機能をオフにすると、本 製品の消費電力が増加します。
充電時間	約 2 ~ 3 時間 * 気温によって異なります。
本体外形寸法	42.3 mm × 44.4 mm × 43.0 mm (突起部除く)

本体質量	約 41 g
動作環境	温度: 5°C ~ 35°C 湿度: 20% ~ 80% (結露しないこと)
ダイレクトプリン ト連携機種	INSTAX mini Link INSTAX mini Link 2 INSTAX SQUARE Link INSTAX Link WIDE
アプリ経由プリン ト可能機種	INSTAX mini Link INSTAX mini Link 2 INSTAX SQUARE Link INSTAX Link WIDE INSTAX mini Evo INSTAX mini Liplay
撮影フォーマット	INSTAX mini INSTAX SQUARE INSTAX WIDE
転送データ画素数	mini: W600 × H800 ピクセル SQUARE: W800 × H800 ピクセル WIDE: W1260 × H840 ピクセル
画像転送時間	mini: 約 10 秒 / 枚 SQUARE: 約 15 秒 / 枚 WIDE: 約 20 秒 / 枚

* 上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。

または下記のウェブサイトにごアクセスしてください。

富士フイルムホームページ：http://fujifilm.jp/

使用中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	USB 電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中に電源ボタンが赤色で点滅する。	周囲の温度が + 5℃～+ 40℃の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	- 電源が入っているか確認してください。 - バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。 - 内蔵メモリーまたは SD カードがいっぱいになっている場合は、アプリに撮影データを転送するか、不要な画像を削除して容量を確保してください。 - 本機でフォーマットした SD カードを使用してください。 - SD カードの接触面（金色の部分）が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。アプリの設定メニューで発光禁止以外の設定を選んでください。
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	- 被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。 - フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。

このようなときは	考えられる原因と対処法
画像がぼやけている。	レンズに指紋などの汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。
カメラが正常に作動しない。	- 一時的に誤作動を起こしている可能性があります。電源を入れ直して確認してください。 - バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。 - 正常に動作しないケースが続く場合は microSD カードスロットの上にあるリセットボタンを押してください。 ※リセットボタンを押すと、カメラに保存した設定データが消えます。（撮影した画像は残ります）
アプリに接続できない。	- 底面スイッチが「Fun」モードになっているか確認してください。 - スマートフォンの Bluetooth 接続を確認してください。 - アプリの最新バージョンを確認してください。
INSTAX プリンターに接続できない。	- 底面スイッチが「Link」モードになっているか確認してください。 - INSTAX プリンターの電源が入っているか確認してください。
撮影したデータをギャラリーに移行できない。	- 内蔵メモリーに撮影データがある場合は、SD カードを挿入・交換する前に、アプリと接続して、撮影データを転送してください。転送せずに SD カードを挿入すると、これまで撮影したデータをギャラリーに移行できなくなります。 - INSTAX プリンターに接続せずに「Link」モードで撮影したときは、撮影データは保存されますが、データをギャラリーに移行することはできません。 ※データの移動や閲覧はメディア設定メニューから可能です。
撮影したデータがアプリに自動転送されない。	カメラの電源が入っているか、アプリと正しく接続されているか確認してください。 以下の場合は自動転送されません。 「Link」モードで撮影したデータ - 未転送の画像がある状態で SD カードを交換した。

このようなときは	考えられる原因と対処法
アプリと接続しているときにカメラの電源が切れる。	アプリの接続有無に関わらず、一定時間が経過すると、カメラの電源が切れます。初期設定は2分です。設定で変更することができます。
ファームウェアのアップデートに失敗する。	アプリ経由でファームウェアをアップデートする場合は、時間や通信環境を変えて再度試してください。
カメラで内蔵メモリーやSDカード内の画像データを確認したい。	メディア設定メニューの「メディア制御」で内蔵メモリーやSDカード内のデータを確認することができます。データの移動、スマートフォン本体へのダウンロードにも対応します。
INSTAX Link プリンターと異なるフィルム設定（「mini」、 「SQUARE」、 「WIDE」）で画像を保存した。 →画像をプリントできますか？	カメラの保存データとプリンターのフィルム設定が異なっている場合、プリンター側のフィルム形状に合わせて出力されません（mini Link 2 のときは「mini」、SQUARE Link のときは「SQUARE」）。プリントする前に、プリンター側のアプリで撮影データの位置やサイズを調整してください。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- △ カメラは連続使用時に高温となる場合がありますので、使用時にご注意ください。高温状態になると、自動的に電源が切れます。
- △ 自動的に電源が切れた場合は、時間を置いて温度が低下するまでお待ちください。再び使用するときは、電源を入れてください。充電を再開する場合は、電源を入れるか専用充電ケーブルを抜き差ししてください。
- △ 以下のような場合は、直ちに USB Type-C ケーブルを外すとともに、電源を切ってカメラの使用を止めてください。
 - ・カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたとき
 - ・カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったとき
- △ カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となることがあります。
- △ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- △ 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意

- △ 絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。
- △ 故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずに、お買い上げ店にご相談ください。
- △ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないで

ください。けがの原因となることがあります。

- △ カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。
- △ 充電が完了したら速やかに USB Type-C ケーブルを外してください。
- △ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。
- △ 本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
- △ フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関する EU（欧州連合）の要求事項を、製品が満たしていることを証明するものです。（CE とはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

取扱上のお願

■ 機器及び電池の取り扱い上の注意

- ・直射日光の強い場所や火気の近くで使用したり、放置したりして、過度の熱にさらさないでください。熱のダメージにより、使用、保管、輸送中、または廃棄時に破裂、または引火性液体やガス漏れの原因となることがあります。
- ・火中や焼却炉などに廃棄したり、または機械的に押しつぶしたり、切断はしないでください。破裂の原因となることがあります。
- ・可燃性の液体や、引火性の高いガスの傍に放置しないでください。破裂の原因となることがあります。
- ・高所地域等の極端に気圧の低い場所に放置しないでください。破裂、または引火性液体やガス漏れの原因となることがあります。

■ カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
3. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
4. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラに有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
5. このカメラの使用温度範囲は + 5℃ から + 35℃ です。
6. プリントされる場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。

■ 充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- ・付属の USB Type-C ケーブルを使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が + 5℃ ~ + 40℃ の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - + 10℃ ~ + 35℃ の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は + 10℃ ~ + 35℃ の温度範囲で行ってください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 500 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

■ 使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

VCCI-B

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている Bluetooth をご使用になる前に必ずお読みください。

■ 本製品は Bluetooth 機器としてお使いください。

Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ Bluetooth 機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。

本製品の Bluetooth 機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使いいただく国の法律を遵守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ **磁場、静電気、電波障害が発生する所では本製品を使用しないでください。**

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生する所では本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ **使用周波数帯**

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。最大出力は約 8.05mW です。

■ **本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
- 1. 構内無線局（免許を要する無線局）
- 2. 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ **本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**

無線局が運用されていないことを確認してください。

本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ **次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。**

- ・本製品を分解、または改造すること
- ・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ **商標について**

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フィルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■ **本機の無線方式について**

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備

FH : 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）

1 : 想定干渉距離が 10m 以内

： 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ **無料修理**

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より 1 年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

* 詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ **有料修理**

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ **修理不能**

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ **修理部品の保有期間**

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ **修理ご依頼に際してのご注意**

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常 7 ～ 10 日位をご予定ください。

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

- お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

● 本製品に関するお問い合わせ

富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口

0570-04-1640(ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6625-2813 におかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00(土日祝日、夏季休業日、年末年始を除く)

● 修理に関するお問い合わせ

富士フィルム フィルムカメラ修理相談窓口

0570-06-6092(ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6625-2814 におかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:30(土日祝日、年末年始を除く)

▶各窓口の受付時間・サービス内容は、予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

▶富士フィルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

▶修理品を持参または送付される場合は、下記サイトをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/support/filmcameras/repairservice>

● 本製品以外の富士フィルム製品のお問い合わせ先

富士フィルム お客様コミュニケーションセンター

0570-04-1711(ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6625-2811 におかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00(土日祝日、夏季休業日、年末年始を除く)

*各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

富士フィルムホームページ：<http://fujifilm.jp/>



FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN